

放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和5年2月1日

事業所名 Merry Grace

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令等に遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数や専門資格は適切であるか	○			法令で必要とされる職員数を配置しており、当日の利用者数に合わせてスタッフの配置を調整しています。 専門資格については、公認心理師、臨床心理士、保育士、幼・中・高等学校教諭、養護教諭、介護福祉士、児童指導員、強度行動障害基礎研修修了者、PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）受講修了者、ジャングルフィットインストラクター（自由に動ける身体をつくるメソッド）が在籍しています。 希望者には、発達検査（WISC）を当事業所で行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			全てバリアフリーにしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日ミーティングを行い、目標設定と振り返りを行っています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方に当施設に対しての評価や希望をきいています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開するとともに、保護者の方にもお知らせしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今はしておりませんが、今後必要に応じて導入を検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修に参加しています。事業所内でも月に一回、資質を向上するための勉強会、研修報告会を行っています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			実施しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを利用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別プログラム、集団プログラムの立案をチームで行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月間の予定表を作成し、イベントやレクリエーションが固定しないよう行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			毎日、子どものニーズにあわせ設定しています。
	14	子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			毎日、個別の学習支援と体の支援（運動トレーニング）、並びに集団による活動を組み合わせ実施しています。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ず職員間の打ち合わせを行い、利用者ごとに担当者を決めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、終了後に振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			一人一人必ずその日の記録をとり、改善につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に一度、保護者面談を実施するとともに、スタッフで話し合いを行い、個別支援計画の見直しを行っています。その後、新しい支援計画の保護者への説明を行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			外部・内部研修をとおり、基本活動を複数組みあわせて支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			事業所の責任者等が対応しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との連携を図り、情報交換、連絡確認を行っています。突然の変更についても学校(担任の先生等)から連絡をいただいています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在対象者がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者の方の了解を得たうえで、児童発達支援事業所と情報共有させていただいています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当がありませんが、今後、必要があれば、利用者や保護者の方の了解を得たうえで情報提供してまいりたいと考えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて児童発達支援センターから助言をいただいています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			当施設は、できるだけ地域に返すことをモットーにしています。当施設の利用日数を減らし、放課後児童クラブ等の利用を併用する、あるいは、移行できるよう、地域でお友だちと遊べるよう保護者の方に勧めています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			研修会や懇談会に参加させていただいています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			事業所での活動や様子は、HUGシステムを導入し、これにより行っています。また必要に応じ、電話やメールにて連絡しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			HUGシステムや電話による相談対応、個別相談にて行っています。また、運動プログラムやクッキング等の見学に来ていただいて、体の動かし方など専門の先生に助言をいただいています。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談を受けたときは、事業所内で話し合い、保護者に対して直接、必要な助言や支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			外部講師を招き、保護者対象の研修会を実施しました。研修会后、保護者交流会を実施しました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			担当責任者を設置し、迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページ上のブログに掲載し、伝えています。行事予定などは毎回文書配布しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が記載されている書類は、施錠したロッカーにて管理しています。また職員一人一人が、個人情報の取り扱いに十分注意をしています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもに対しては、必要に応じ、視覚支援を行うため、紙に書いたり、PECSカード、ライン、手紙等で意思疎通を行っています。保護者に対しては、電話やHUGシステム、メール等でお伝えしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今のところ予定はありません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、月1回訓練を実施しています。各マニュアルは、HP上に掲載し、保護者へ周知してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防職員に来ていただき、指導を受けています。また月に1回、様々な場面を想定し、訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を定期的（年2回以上）に開催し、マニュアルの内容を職員間で共有しています。また、外部研修に参加し、その教材をもとに内部研修を実施しています。施設内と送迎車内にはドライブレコーダー等カメラを設置し、虐待防止に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、身体拘束を行わなければならないケースはありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			対応しています。アレルギー診断のある利用者については、保護者から事前にお聞きしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			独自のヒヤリハット事例集を作成し、再発防止に努めています。